

平成 29 年 5 月 18 日

平成 28 年度 特定非営利活動法人 UNE 事業報告書

I 総括

特定非営利活動法人 UNE の活動 6 年目の年、障害者のしごと起し、高齢者の生甲斐づくり、生活保護者の居場所づくりを通して地域(一之貝及び荷頃地区)の活性化を図ることを目的に各種補助金、助成金事業を活用し様々な事業を実施した。

II 事業実績

1. 地域活動支援センター運営事業(長岡市補助事業)

①障害者

月曜日から金曜日までの週 5 日、一之貝と千秋が原信濃川河川敷を活動場所として農作業を

中心とした活動をした。

年間の地域活動支援センター UNEHAUS の障害者の利用者総数は、1,983 人日、開所日数

は 236 日で、1 日の平均利用者数は 8.40 人であった。

②生活保護受給者

4 年間実施している生活保護者のボランティア活動の一環で 28 年度は 6 名受入れを実施、週 4 回 UNE の活動を手伝って貰うべく、長岡駅東口から送迎し UNEHAUS に集う障害者、高齢者と共に働き活動した。障害者や高齢者の支援に非常に有効に関わって貰った。

③平成 29 年度の市民ボランティア

UNEHAUS で活動した有償ボランティア(障害者、生活保護受給者、高齢者)の延べ参加日数・人数は約 1,400 日人で、昨年度より 100 人日増加した。

2. 農業生産・加工事業及び販売(共同募金助成金を活用)

①農業分野(平成 25 年 2 月 28 日県内初、NPO 法人認定農業者となる)

☆一之貝

- ◇ お布団農法の取組(30 a)
- ◇ エコ 5 5 栽培の取組(90 a)
- ◇ 幻のもち米「大正餅」栽培(10 a)
- ◇ 食味検査への出展

☆千秋が原：河川敷の使用許可＝河川協力団体に認定（平成 28 年 3 月 15 日）

- ◇ 『福祉・市民 体験農園』開設に向けての取組への検討を行った。（農水補助事業）
- ◇ かぐらなんばん

②加工

- ◇ 時季毎の笹団子の製造、梅干しや体菜などの漬けこみ、神楽南蛮味噌の製造等を行った。
- ◇ 地元の協力を得、製造品目、計画的な生産を目指した工場の稼働率の向上。
- ◇ 月 1 回～2 回、自家製うどんの製造を行い、給食のメニューとした。

③販売

- ◇ UNEHAUS 及び中沢直売所の運営
- ◇ JA 越後ながおか なじら～て美沢店への出品
- ◇ アオーレ（山菜マルシェ、酒の陣、ドイツフェスト、市民活動祭り）千秋が原ふるさとの森クラフトフェア、新潟三越（越品）、長岡グランドホテル（長岡まつりVIPレセプション）、東京日本橋のブリッジにいがた（長岡物産市）、神奈川県川崎市でのかわさき市民祭、道の駅（感謝祭）そして東京表参道 新潟物産館ネスパス（どぶろくうまいもん市）でのイベント参加
- ◇ どぶろくの販売（道の駅290は一もに一、駅ビルココロくぼた屋、新潟駅ビルくぼたや（新規）、居酒屋ナジラ～テ及び各種会合への引き出物として販売）
- ◇ どぶろく試飲会の開催（新潟三越）

3. 農業サービス事業

6 月の笹の採取、11 月のクロモジの採取を行った。笹は 2 年目、クロモジは 3 年目で、採取のスピード、収量も年々向上している。

笹は、23,000 枚、（近藤産業に全量出荷）、クロモジは 3 t（養命酒に全量出荷）を採取し販売した。いずれも前年度を 3 割程上回った。

4. 障害者の仕事となりうる各種請負事業

- ◇ 地域に根ざした請負作業：雪下ろし、農作業の手伝い、草刈り
- ◇ 千秋が原：公園管理の手伝（ペンキ塗り）、花苗移植、夏期期間の夜周り（長岡緑地環境協同組合）

- ◇ アパートの清掃及び修理（家老ビル）
- ◇ 大平山整備（親緑会）
- ◇ 水路草刈り（上川西農地水環境）
- ◇ 街路樹の剪定手伝い（万松園）
- ◇ 引っ越し、草刈りの手伝い（ハイハイネット）
- ◇ 園芸福祉にいがた事務委託

5. 農村と都市との交流事業

8 月には東京中野区の幼稚園、2 月には埼玉県鶴ヶ島の児童クラブの生徒の受入れをした。

各種イベントの開催：田植、稲刈り、信濃川河川敷遊び塾

各種クウカイの開催：山菜・新米・薬膳・もち・キノコ等

6. 地域活性化事業

- ◇ 平成 28 年度は 5 月 31 日より、北荷頃・一之貝・軽井沢集落連携促進協議会を立ち上がりその事務局を担当した。協議会の事業の農林水産省の農山漁村振興交付金事業を活用して、集落ごとの座談会、2 月の地域活性化フォーラムを開催し、今後の集落のあるべき姿について話し合い、UNEとして対応できるそれなりの方針を示した。
- ◇ 一之貝区をはじめ荷頃地区の北荷頃区、軽井沢区と連携して資源回収資（奇数月 2 地区：北荷頃、一之貝・軽井沢）、お祭り等の行事に参加。
- ◇ 地区区長会の開催会場として UNEHAUS を利用して貰ったり、地区の防犯交通運動、公民館活動等の事業に参加したりした。
- ◇ 地域での共同草刈り、水路の江浚いなどにも積極的に参加した。
- ◇ 11 月 1 日より地域おこし協力隊員（長岡市嘱託職員）女性 1 名の受け入れを実施した。
- ◇ 一之貝中山間地組合との連携・地域活性化を推進

7. 農村からの情報発信事業

- ◇ 視察研修受け入れ、

社会福祉協議会、市民協働団体、大阪経済大学、北海学園大学、農林水産所北陸農政局、集落活性化協議会など様々な視察研修の受け入れを実施した。また、新潟県や中越地区社会教育士会、倫理法人会などからの講演依頼があった。

広報

各種マスメディアに掲載、放送された。

新潟日報、とちおタイムス、日本農業新聞、全国農業新聞、毎日新聞、NCT、NST
財界にいがた、

なお、日本農業新聞北陸版に6週に1回の割合で、代表理事が「おりおり」という随筆コーナーに8回投稿した。

また、北荷頃・一之貝・軽井沢集落連携促進協議会の広報誌「きたいちかる」月刊、発行部数700部にUNEのイベントや活動を紹介する記事を掲載した。

8. 農産品特産品の料理提供で障害者就労を創出する飲食事業

給食事業の拡充(飲食業の営業認可取得済み)

- ◇ 1日平均食数は18.7食(約4,400食人/年)。開業日数は237日、その他イベントやお茶会、宴会などで900人が来訪し、年間総来訪者数は5,300人がウネハウスで飲食をした
- ◇ 交流人口を増加させるために積極的な広報宣伝活動：地域・長岡市街からも集客を行った。来客者数(4,400食の内、スタッフを除いた数)の総数は1,250人で全体の28%、その内訳は村内31%、村外の市内50%、県内9%、そして県外9%であった。
- ◇ 調理員5~6名体制。(調理員：一之貝・北荷頃地域、市街からのボランティア)
- ◇ 一之貝から3人、北荷頃から2人の計5人の方で週2回を目途に給食作りに来て貰っている。
- ◇ 給食事業(月~金)、12:15~12:45

9. 送迎事業

買い物送迎(毎月 第2、第4木曜日午後)、通院送迎(随時)等を通じ地域の高齢者の見守り、生活支援等を実施した。

10. 障害者の仕事となりうる各種人材派遣事業

農山漁村振興交付金事業で立ち上がった北荷頃・一之貝・軽井沢集落連携促進協議会の事務局をUNEの事務所内に併設すると同時に、代表理事が協議会の事務局長を兼任した。

その他、協議会が実施するイベントにUNEの市民ボランティア(障害者、高齢者、生活保護受給者)を派遣した。

1 1. 農家民宿事業

◇ 簡易宿所営業免許の取得

昨年度取得した季節旅館の営業許可では時季が半年と限られているので、通年営業できる簡易宿所の営業許可を11月15日に取得した。なお、取得に当たっては階段の改修、非常時照明等5個の設置、そして宿泊室と一般室との天井裏の耐火壁の設置、それに伴う2階の簡易改修などで、総額70万円程の経費を要した。

◇ 第2の実家

一之貝で生まれ育ち首都圏や中極圏で暮らしておられる方々が2泊3日でU NEHAUSに宿泊された。今後は荷頃や西谷、そして栃尾地域と関係のある方々をターゲットに広報し食拍車を増やしたい。

1 2. どぶろくの製造及び販売

◇ 平成28年度の生産量は960L、平均アルコール度数は13.78%、蒸米と米粉の割合は35%と65%、製造所としての売上は180万円程であった。これらの数量は初年度平成27年度（11月～3月）までの数量とほぼ一緒である。

◇ どぶろくの製造販売に関する調査研究（新潟県醸造試験場、新潟県どぶろく研究会、及び長崎県南島原市で開催の全国大会に参加した。）

◇ アオーレ（山菜マルシェ、酒の陣、ドイツフェスト、市民活動祭り）千秋が原ふるさとの森クラフトフェア、新潟三越（越品）、長岡グランドホテル（長岡まつりVIPレセプション）、東京日本橋のブリッジにいがた（長岡物産市）、神奈川県川崎市でのかわさき市民祭、道の駅（感謝祭）そして東京表参道 新潟物産館ネスパス（どぶろくうまいもん市）でのイベント参加

◇ どぶろくの販売（道の駅290は一もに一、駅ビルココロくぼた屋、新潟駅ビルくぼたや（新規）、居酒屋ナジラ〜テ及び各種会合への引き出物として販売

◇ どぶろく試飲会の開催（新潟三越）

1 3. その他、第3条の目的を達成するために必要な事業

特になし

以上